

「高校生との意見交換会」を開催（厚生文教委員会）

本市議会では、「市民の多様な意見を把握する」という議会基本条例の規定を踏まえ、若い世代の意見を聴く機会を設けることを目的として、高校生との意見交換会を開催することとしています。

令和5年7月5日、厚生文教委員会の主催で広島三育学院高等学校3年生の皆さんと4グループに分かれて意見交換を行いました。

今後、秋口にかけて、総務財務委員会・経済建設委員会でも市内の他の高校と意見交換会の開催を予定しています。若い世代からの意見も参考にして、今後の政策提案に活かしていきます。

高校生からの意見（広島三育学院高等学校）

■三原市の課題について話し合った。人口減・農業人口減・女性の議員が少ないといった課題が分かった。人口減少について、進学で地元を離れる人も多いため、働く場所を作っていく必要がある。

■学校周辺（大和町）は、自然が豊か。自然の良さを活かした空き家情報の提供が有効なのではないか。



■三原市では、教育・子育て・福祉・デジタル化に力を入れていることが分かった。市長が「デジタルファースト宣言」をし、手続きをスムーズにするため、ネットの活用、ウェブサイトで伝える活動が行われていた。キャンプ事業による活性化は賛成である。

■政治はこれまで遠い存在だと思っていたが、どんな分野においても政治に関りがあると感じた。これまで選挙に関心はなかったが、投票に行こうと思った。



本会議において、希望者に手話通訳者を配置

本市議会では、きこえない人、きこえにくい人に対して、手話通訳を行うことにより、傍聴しやすい環境を整え、開かれた議会を実現することを目的として、「三原市議会手話通訳実施要領」を定めました。

詳しくは、市議会ホームページをご覧ください。



災害発生時の市議会の対応を確認

三原市議会 災害対応訓練（5月29日）

本市議会では、平成30年豪雨災害での経験を教訓として、災害対応要領を定めています。今年も梅雨の出水期を前に、初動期の動きやタブレットを使った報告の方法など、災害対応の訓練を実施しました。